

授業科目	養護実習事前事後指導 (2019 年度入学生)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	0		
開講年次	3~4	開講時期	三期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	西丸 月美、杉谷 修一							
授業概要	養護実習に臨むための準備を整え心構えをするとともに、実習後の整理を追求的にこなう機会となることを意図している。実習前は実習校での学校教育活動と学校経営・運営に参加するにあたって必要となる知識及び技術を身につけることを目指す。実習後は体験を通して修得した事項や課題について学生相互に意見交換させることにより、養護教諭としての資質や執務内容の向上を図ることを期待する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 養護実習に臨む上で必要な知識及び技術を習得できる。 2. 学校教育の現場で実習する上で、留意すべき事項を理解し、必要な物心両面の準備を行うことができる。 3. 養護実習を通して体験した事項や課題について学生相互間で意見交換を行い、発表することができる。 4. 養護実習を通して修得した事項や課題を整理することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	30	30	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)		5	5				10	
知識・理解 (DP1-2)		5	5				10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)		5	5				10	
思考・判断 (DP2-2)		5	5				10	
関心・意欲 (DP3-1)			5				5	
関心・意欲 (DP3-2)			5	5			10	
態度(DP4-1)				5		5	10	
態度(DP4-2)				5		5	10	
態度 (DP4-3)				5		5	10	
技能・表現 (DP5-1)				5		5	10	
技能・表現 (DP5-2)				5			5	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルの全てを達成した上で、事前の準備や事後の演習等に積極的に取り組み、その成果を客観的に示すことができること。さらに、演習や実習校との打ち合わせにおいて養護教諭としての資質を高めることができている。				養護実習に臨むための準備を整えるとともに、実習後の整理を追求的にこなうことで養護実習の効果を高めるのを目標にしているため、行動目標が全てできることを標準的なレベルとする。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 1 テーマ: 養護実習に臨むための準備(西丸、杉谷) 養護実習のシステムについて解説する。			講義		実習オリエンテーション時の文書を整理・確認し、実習に備える。		60

	実習に臨む上での心構えについて解説する。			
2	テーマ:人権教育(外部講師、西丸、杉谷) 学校における人権教育について、理念、歴史、進め方について、解説する。	講義	講義内容について履修カルテに整理する。	60
3	テーマ:実習に向けて(外部講師、西丸、杉谷) 現職養護教諭から実習について解説する。	講義	講義内容について履修カルテに整理する。	90
4	テーマ:実習前オリエンテーション 2(西丸・杉谷) 実習校との打ち合わせ・事前準備について解説する。 講義概要・進行について解説する。	講義 演習	実習オリエンテーション終了後、各自、実習校と事前打ち合わせを行い、準備を進める。	90
5	テーマ:健康診断(西丸) 健康診断の実施計画及び実施方法、事後措置について演習を行う。	講義 演習(GW)	予習:テーマについて教科書と資料等で確認しておく。 復習:講義内容について履修カルテ、ワークシートに整理する。	60 60
6	テーマ:学校における救急処置(西丸) 学校での救急処置活動の実際について解説し、グループで討議する。	講義 演習	予習:テーマについて教科書と資料等で確認しておく。 復習:講義内容について履修カルテ、ワークシートに整理する。	60 60
7	テーマ:問診・フィジカルアセスメント(西丸) 子どもの訴えに応じた問診・フィジカルアセスメント技術について演習を行う。	講義 演習(GW)	予習:テーマについて教科書と資料等で確認しておく。 復習:講義内容について履修カルテ、ワークシートに整理する。	60 60
8	テーマ:特別支援教育における養護教諭の役割及び中間試験(西丸) 児童生徒等の発育発達と支援の方法と対応の仕方について解説する。確認試験を行う。	講義 中間試験	予習:試験の準備をする。 復習:試験の内容を復習しておく。また、これまでの重要なポイントを履修カルテに整理する。	90 60
9	テーマ:健康相談(西丸) 健康相談の事例を通して考え、グループで意見交換する。	講義 演習(GW)	予習:テーマについて教科書と資料等で確認しておく。 復習:講義内容について履修カルテ、ワークシートに整理する。	60 60
10	テーマ:保健室経営について(西丸) 保健室経営計画についてグループで討議する。	講義 演習(GW)	予習:テーマについて教科書と資料等を確認しておく。 復習:講義内容について、履修カルテ、ワークシートに整理する。	60 60
11	テーマ:実習前オリエンテーション 3(杉谷・西丸) 実習の手引き、記録類の作成について説明する。	講義 演習	実習の手引き、記録類の作成について復習しておく。	60
12	テーマ:実習前カンファレンス(杉谷・西丸) 実習時期別にグループカンファレンスを行う。	講義 演習(GW)	各自、実習校と事前打ち合わせをノートに整理しておく。	90
13	テーマ:実習後カンファレンス(杉谷・西丸) 実習後の振り返りとして、学生間で実習中の課題についてカンファレンスを行う。	演習(GW)	準備:実習の成果課題についてまとめておく。	90
14	テーマ:実習のまとめ(西丸、杉谷) 実習のまとめとして、実習成果発表を行う。	演習 (発表)	準備:実習の成果課題についてのプレゼンテーションの資料や発表原稿を作成する。	90

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	子どもの健康問題、救急処置、学校組織、教育、いじめ、学習指導要領などの幅広い知識や技術が求められます。これまで履修したことの総括をしておくことと、養護実習校の地域理解を深める必要があります。			
テキスト	「学校における養護活動の展開」最新版 津島ひろ江他編著 ふくろう出版 「新訂版 学校保健実務必携」学校保健・安全実務研究会編著 第一法規			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「養護実習ハンドブック 改訂 養護教諭必携シリーズNO. 4」大谷尚子(編者),中桐佐智子(編者) 東山書房 教材:必要に応じて資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この科目は、養護実習に参加するにあたって必要となる実践的な知識や技術を学ぶものです。これまで履修してきた科目の復習をするとともに、さらに実践力を修得できるよう予習をして授業に臨んで下さい。また、できるだけ子どもにかかわるボランティアなどの体験をすることを勧めます。			
達成度評価に関するコメント	レポート内容及び課題提出等については、授業の中で指示する その他の評価については、実習報告発表会・救急処置発表会・授業への貢献度等で評価する。			

